

さいとう淳一郎の日々の街頭演説を、紙上でお伝えしています。

次の世代のために・・・

“子どもや孫たちが帰ってくるまちづくり”を目指して
栃木県議会議員

さいとう淳一郎街頭演説レター

第 19 号

発行日 平成 25 年 10 月 1 日

発行者 栃木県議会議員

さいとう淳一郎

〒329-2136 矢板市東町 3006-3

増税の前にやるべきことがある！

安倍総理は本日、消費税率を来年4月から8%に引き上げることを正式に表明しました。

昨年8月、消費税の増税法案が、自民党、民主党などの賛成多数によって可決成立してしまいました。現在税率5%の消費税は、来年4月には8%、そして再来年10月には現在の倍の10%まで引き上げられることが、自民党、民主党などの既成政党の手によって決められてしまったのです。

しかし私たちみんなの党は、「増税の前にやるべきことがある！」ということ、これまで終始一貫して、そして党を挙げてお訴えしてきました。

現在、安倍政権のもとで、「アベノミクス」といわれる一連の経済対策が推進されています。為替レートが円高から円安に振れたことで、輸出産業の一部に明るい兆しが見え始めていますが、東京に対する私たち地方、そして大企業に対する中小・零細企業や個人商店主の皆さんが、「アベノミクス」の恩恵に与ることができるようになって、お給料が増えていくのは、まだまだ先のことではないかと思えます。

そうした状況のもとで消費税率を引き上げてしまえば、せっかく回復しつつある景気に水を差し、長引くデフレ不況からの脱却を一層困難なものにしてしまうのではないのでしょうか？

増税の前にやるべきこととは、景気を本格的な回復軌道に乗せていくことです。そのためには、現在の「アベノミクス」では不十分な大胆な規制緩和を断行し、民間投資を喚起する経済成長戦略を確固たるものにしていくことが必要です。

そして忘れてはいけないことは、私たち政治家自らが身を切ることです。私「さいとう淳一郎」も、おとし4月の県議会議員選挙で矢板市民の皆さんにお約束した議員の月々の給料に当たる、議員報酬の3割カットを実施してきました。

そして昨年12月、自主的にカットしている25%分、月額207,500円の20カ月分、総額415万円の全額を、「震災復興のために役立つ」とお約束した通り、日本赤十字社の東日本大震災義援金に全額寄附しました。

このように政治家自らが身を切ることで、政治に対する国民の皆さん、県民の皆さん、そして矢板市民の皆さんの信頼を取り戻す一番の近道だと考えています。